

中国陸運

運送の仕事を表現

同美術館は改装工事のため2023年春まで休館中で、現在は広島市の商業施設など館外で様々な企画展を開催している。新たな展示方法を検討する同館の学芸員が、トラックのプリント作風で国内外から人気のト事業も手掛ける西尾社長

に知人を介して相談を持ち掛け、今回のコラボレーションが決まった。

2台目は、同社の主業務である「食品を運ぶトラック」をテーマに新たに描かれたモノトーン作品だ。

3台目のモチーフとなるのは、広島県のご当地グルメにもなっている汁なし担々麺。前作と同様に、シンボディーの片側の側面では、荷物を運ぶ不思議な配達員たちに向かって、同じように異なる人物が「何を運んでいる」と質問。もう

【広島】中国陸運（西尾義輝社長、広島県廿日市市）は広島市現代美術館と連携し、斬新な作風で注目のアーティスト、横山裕一氏の作品を自社トラックにプリントした。第1号が8月1日に稼働し、9月中旬までに計4台を制作。この企画のために描き下ろされたデザインもあり、人々の目を楽しませながら県内外を走行中だ。（矢野孝明）

斬新な作風で注目
横山裕一氏作品

車両にプリント

現代美術館とコラボ

「食品を運ぶトラック」がテーマの新作

る。

西尾氏は

「街中を走り回るトラック

が展示会場と

いうこの企画

は、美術館に

とって新たな

試みであり、

当社にとって

も初めてのこと

と。我々も消

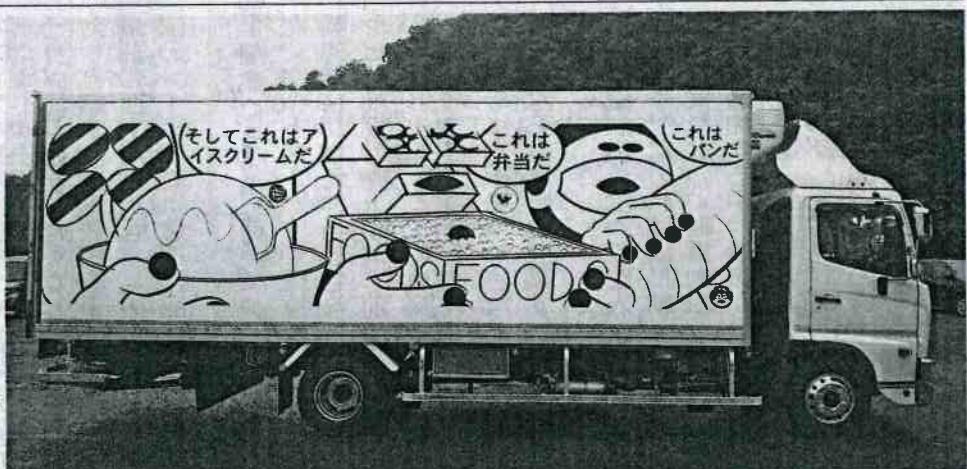
費者も楽しみ

ながら、アーティ

トや物流を身

近に感じる機会になればう

れしい」と話している。



リアを毎日走行。4台目は

幹線輸送用の大型で、こちらに感じる機会になればうれしい」と話している。